

(交流及び共同学習)

委託を受けた地域名	
-----------	--

インクルーシブ教育システムの構築を目指した交流及び共同学習の取組

取組の特徴、概要を述べる。

I 交流及び共同学習の取組

1. 指定地域・指定校の概要

交流及び共同学習を実施する学校の基本情報（例：学校の規模、障害種別（特別支援学校）、特別支援学級の有無とその障害種別（小・中学校）等）、本事業実施以前の交流及び共同学習の取組の状況、地域・学校の特色のうち交流及び共同学習に関連する事項等を説明する。

2. 計画的・組織的な交流及び共同学習の実施のための工夫

双方の学校（学級）における教育課程上の位置付けや指導計画作成における工夫、学校間又は校内における実施体制の工夫、又は居住地校に副次的な籍を置く等の教育委員会における取組など、交流及び共同学習の多様な取組を計画的・組織的に実施するための工夫について説明する。

3. 実践例

1つ以上の実践例を取り上げ、2. の工夫が分かるように記述する。

4. 成果と課題

インクルーシブ教育システムの構築に資する教育活動としての交流及び共同学習という観点から、成果と課題を記述する。

Ⅱ 交流及び共同学習における合理的配慮の取組

(代表的な2～3事例程度について、それぞれ別葉で記載。)

1. 対象児童（生徒）について

学年、障害の状態、学習の様子、友だち関係や人との関わり、重点的に取り組んでいる課題、指導の方針等。

2. 対象児童（生徒）の学校（学級）及び交流先の学校（学級）における基礎的環境整備の状況

基礎的環境整備(1)～(8)の中から、特徴的な事項をいくつか挙げ、説明する。
また、適宜、資料を使用することができる。写真については、本人、保護者の許諾のあるものを使用することができる。

3. 対象児童（生徒）への合理的配慮の実際

合理的配慮(1)－①～(3)③の中から、特徴的な事項（交流及び共同学習に関わるもの）をいくつか挙げ、説明する。

また、適宜、資料を使用することができる。写真については、本人、保護者の許諾のあるものを使用することができる。

4. 取組の成果と課題（課題の解決策等について）

対象児童（生徒）への学習面・社会性の面への効果、他の児童・生徒への影響、教師や学校が課題と感じていること、新たに進めつつある取組など。

5. 本事例の考察

改めてこの事例の特徴的要素（この事例から何が参考となるのか）、影響を与えていると考えられる基礎的環境整備の状況、効果的な合理的配慮とそれに付随する学校、教師（通常学級・特別支援学級）の取組や具体的要因などについて考察する。